

中井幸比古

はじめに

京都方言の、外来語のアクセント（以下「アクセント」は「ア」）の記述を行う。このテーマに関する研究としては、平山(1960)を利用して共通語との対応の観点から考察した小暮(1982)があり、京都アと「大同小異」の、大阪アなど中央式諸アについて（も）触れているものに、榎垣(1943)、和田(1951)、寺川他(1944)、吉原(1983)などがある。また、京都アの外来語のアは、核の位置に関しては共通語と一致するものが非常に多く、秋永(1981)など共通語アについての諸研究に負うところも多い。これら諸研究によってこの問題のかかなりの部分は既に明らかにされている。本稿では、筆者の調査による資料からやや帰納的に記述して行くことによって、これら諸研究に述べられていることにより確実な裏付けを与え、併せて従来記述不十分かと思われる若干の事柄について述べ、さらに京都ア内部の個人差についても触れる。また拙稿(1988a)p.50「け」で述べたことを具体的に実証することも目的とする。本稿は、筆者が進めている京都アの網羅的な記述の一環をなすものである。

西洋諸語から入ったもののみを考察し、朝鮮語・アイヌ語などから入ったものや漢語は扱わない。固有名詞・和製英語の類などは扱う。混種語（例：都市ガス、マッチ箱）は扱わない。

資料について。3モーラまでについては拙稿(1987a・1988ab)による。4モーラ以上については、上野(1985・?)から調査で出の悪かった若干の語彙を削ったものを調査票に用いた未発表資料による。これらの中から抜き出した外来語1436語について考察する。

話者の氏名や経歴などについては拙稿(1987a・1988a)を参照されたいが、本稿で用いる話者の略号とその生年・性別をあげておく。京都旧市内：＜真＞1971f、＜筆＞1957m、＜和＞1934f、＜三＞1930m、＜栗＞1914f、＜林＞1913f、＜中＞1910f、＜長＞1911f、＜橋＞1910f、＜安＞1909f、＜大＞1908m、＜佐＞1903m、＜田＞1900f、＜泉＞1898f。滋賀県野洲郡：＜早＞1917f。現京都市北区中川北山町＜千＞1919f。

上記16名の話者のうち、＜安＞については4モーラ以上が、＜佐・早＞については5モーラ以上が、一部未調査なので、その部分については資料が欠けることになる。その他の話者についても、一部確認不十分で、今後若干の訂正を要するところが出てくると思われるが、本稿の論旨に影響するほどではないと思われる。平山(1960)所収の京都ア（以下＜平＞、1940年代前後の話者か）と1901生の榎垣実氏担当の『日本国語大辞典』の京都ア（以下＜榎＞）についても、筆者の資料にある語は

扱うことにする。

話者のうち、＜栗安田泉早千＞はやや外来語が「苦手」な話者であり、そのほかの話者はそれほど「苦手」ではない。楳垣氏は外来語の研究家としても著名な方であった。

アの表記について。共通語アについて言及するときは核の有無と位置(0、1、2...)により、京都アについては、核の有無・位置、及び高起式(コ)・低起式(テ)による。具体的な音調との関係については上記拙稿参照。

1. 全員のアが一致する語彙と基本ア型について。

まず、全員のアが一致する語彙を抜き出す(具体的な語彙は本稿末尾にある)。とりあえず、複合語もそれ以外のものもまとめて、モーラ・型別の語数を下に示す。

2 モーラ語(調査語数70中):全員コ1型45語、全員テ2型3語、全員テ0型1語

3 モーラ語(調査語数382中):全員コ1型281語、全員テ2型6語、全員コ0型4語、全員テ0型2語

4 モーラ語(調査語数474中):全員コ1型164語、全員テ2型83語、全員コ0型41語、全員テ0型6語、全員テ3型2語

5 モーラ語(調査語数220中):全員コ3型54語、全員テ2型23語、全員テ3型5語、全員コ0型5語、全員コ1型2語、全員コ4型1語

6 モーラ語(調査語数171中):全員コ4型68語、全員テ4型4語、全員コ3型8語、全員コ5型4語、全員テ2型1語

7 モーラ語(調査語数91中):全員コ5型32語、全員コ4型20語、全員テ4型3語、全員テ5型2語、全員コ6型1語

8 モーラ語(調査語数28中):全員コ6型10語、全員コ5型6語、全員テ4型1語

下線を引いたものは語数の多いものであり、京都アにおける外来語の基本ア型と考えられよう。4モーラ語を除くと、「高起式で語末から3モーラ目に核がある(「(○...)○」○○)、但し3モーラ目がない場合は高起式で語末から2モーラ目に核がある(「○」○○)語がもっとも多いといえる。低起式より高起式が多いのは、低起式の有標性と関係があろう。4モーラ語は、このことからするとコ2型(「○○」○○)が予想されるが、現実にはテ2及びコ1が多い。一応、これは一つには、京都アでコ2型が嫌われるということと関連付けられよう(共通語との関係については拙稿1988c、原語の音調との関係については3節)。なお、言うまでもないが、外来語には1モーラ語はない。

以上と類似の結果が、小暮(1982)や、やや部分的に奥村(1961)・和田(1951)で報告されている。

次に、上記と、漢語・和語の基本ア型とを比較する。漢語・和語についても具体的な数字をあげるべきであるが、今回は略し、結論（一部予想を含む）のみを述べる。

和語の基本ア型は大変考察しにくい。そもそも和語は、一部の複合語以外は慣用久しい語がほとんどであって、特定の型に語彙が集中することが少なく、その基本ア型を考えることは困難である。ただ、複合語が多い5モーラ以上については、上記外来語のものが当てはまるようである。

漢語については、奥村・和田上記論文その他によれば、2モーラ語と5モーラ以上の語は外来語に同じ、1モーラ語はコ0型が、3モーラ語はコ1型テ0型（但しテ0型は○ッ○、または形容動詞・サ変動詞語幹のものが多い）が、4モーラ語はコ0型が、基本ア型として良さそうである。漢語と外来語が異なるのは3・4モーラであるが、いずれも漢語で無核が基本ア型の場合に、外来語では有核が基本ア型となっている。その原因の一つとして、原語のアの影響が考えられるかも知れない。すなわち、外来語の大多数は英語からの借用であるが、英語では語のどこかの音節に強勢があり、いわば「無核型」の語がないのである。なお、外来語でも、4モーラ語ではコ0型が他のモーラ数の場合に比べれば、やや多いことにも注目すべきである。

要するに、外来語の基本ア型は、若干の相違はあるものの、漢語や（少なくとも5モーラ以上の）和語の基本ア型とほぼ一致するといえよう。

寺川(1944)に、大阪アと伊勢アの5モーラ語の基本ア型は各々テ4型とコ4型という旨の記述がある。しかし、京都アではこれは当てはまらず、コ3型である。寺川他(1944)で基本ア型の根拠としてあげられている五十音図の「アイウエオ・カキクケコ」の各アも、京都ではコ3型が最も普通である（上記16名の話者のうち＜早＞以外全員コ3、若年層ではテ3も、拙稿1988c、1988a pp.47-48 「う」参照。＜早＞のみテ4型、地域差か）。

ところで、寺川氏の大阪・伊勢アにおける基本ア型の認定には問題があるかも知れない。

まず、寺川他同書pp.49-50によれば、「アイウエオ・カキクケコ…」は、各々大阪でテ4、伊勢でコ4であるという。筆者の不十分な調査によると、大阪ではテ4の他、コ4・テ3・コ3や、さらに「アイ」ウ「エ」オもある（若年層はテ3が多いよう）。伊勢は地点が異なるらしいし、若い話者であるが、テ3の人もある（久居市出身昭32生の服部匡氏）。

また、「アイウエオ・カキクケコ…」のアが必ず5モーラの基本ア型に一致する

という考えはちょっと危険ではなかろうか。大阪の最後にあげた「アイ」ウ「エ」オの音調は、京都での「いろはにほへと」の唱えかた（上記16名全員「イ」ロ「ハニ」ホ「ヘ」ト）を思わせる（遺憾ながら大阪での「いろはにほへと」の唱えかたは未詳）。この音調は「語」としてのアではなく、「唱え言」としてのある種の旋律のようなものであろう。「アイ」ウ「エ」オ以外の音調（テ4コ4）についても唱え言としての旋律のようなものが関わっている可能性がある。

さらに、同書によると、伊勢や大阪では、5モーラ語で、基本ア型は各々コ4・テ4であるが、外来語の多くはコ3・テ3で、両者は一致しないという。ところが、寺川(1951)pp. 556-558では、記述がやや異なり、「例外的事情が多くあって一概には言えないが」、伊勢アでは、5モーラ外来語アにコ4が多い（但し若年層ではコ3も多い）とされる。もしそうなら、5モーラの基本ア型と外来語アの多くが共にコ4であって、おそらく昇核現象（3モーラコ2型からコ1型への変化とそれに準ずる変化）が進行中であるために、両者が共にコ3型に変化しつつあるということになろう。なお、寺川(1951)には大阪アについて言及が無い。

本稿の話者に関しては、昇核現象の起こっていない<千>や、昇核現象がやや起こりつつある<早>についても、昇核現象が終了している話者と同じく、5モーラの、基本ア型も外来語の多くも、共にコ3型で一致している。外来語では、後述のように<早千>は他の話者とほとんどアが異なるところがなく、コ4・テ4の語彙はほとんどない。

上記久居市の服部氏の場合も同様である（服部氏も昇核現象はそれほどひどくは起こしておらず、古形がかなり残っている。三重県北部の中央式一般について言えるかと思われる）。あるいは、昇核現象がおこっていない中央式諸方言の多くのものは、<早千>と同じ状態なのかも知れない。また、寺川(1951)p. 558にあげられている、伊勢ア老年層の4モーラ以下の基本ア型（外来語のみならず一般の）「1モーラテ0、2モーラテ2、3モーラテ2、4モーラコ3・テ3」も、和語における東京式アと中央式アの対応に捕われたもので、実は伊勢ア老年層の基本ア型は上にあげた京都アのものに一致するのかも知れない（上記服部氏の場合は京都アのものに一致するようである）。ともあれ、諸方言での、特に老年層に関する情報が望まれる。

なお、和語・漢語では、<千>（<早>も少し）は、他の話者に比較すれば5モーラコ4・テ4型の所属語彙が多いが、それらを基本ア型とできるほどではない（拙稿1988aの前書き）。ここで、もしも<（早）千>のようなアが昇核現象の起こっていない中央式諸方言の一般的な状態であるとすれば、外来語には昇核現象に関わる語がないということになる。これは、要するに、外来語の大部分は基本ア型に属するが、昇核現象が起こる前後で、基本ア型には変化がなかったということである。

と考える（7節参照）。

上記のいくつかの中央式の方言の「基本ア型」（外来語だけでなく体言一般）と、文献から明らかにされている、京都アの変遷との関連について、5モーラ体言を中心に、触れておこう。

桜井(1975)pp.142-182によると、平安朝末期の京都アの5モーラ体言の基本ア型は、下表(a)の諸型のものであった（但し(3)の語例はあまり多くないよう）。

同書ではここで、寺川氏の著作を引用し、現代伊勢方言の「基本ア型である」コ4テ4型は、平安朝末期の基本ア型が保存されたものであるとする。しかし、平安朝末期以降室町時代までに起こったア変化によって、下表の(b)に示すように、(2)は核の位置が左に移動したはずである：

(a)(平安朝末期)	(b)	(c)	(d)
(1)上上上上平 →	(“ほぼ”不変化)(コ4型)	コ4型	コ3型
(2)平平平平平 →	(コ2型)	コ4型	コ3型
(3)平上上上平 →	(不変化)(テ4型)	テ4型	テ3型

従って、仮に伊勢方言の基本ア型がコ4テ4であるにしても、それは古形がそのまま保存されたものではない。一旦は、(b)のように、高起式ではコ4コ2のいずれが基本ア型なのかははっきりしない、不安定な状態を経た後で、(b)の(2)がさらに変化を起こしてコ4型になり、核の位置が統一された（核の位置については元に戻った）と考えなければならない（(c)の状態）。

しかし、中央式の方言には、(b)のような状態を通った後、(c)には変化をせず、核の位置については「コ4コ2テ4」の「中間」であり、かつ語の中央部に核がある「コ3テ3」に変化した方言も多いのではないか（語の中央に核がある型に変化するのは一つのア変化の方向である）。つまり、(d)は、必ずしも(c)から昇核現象によって変化したものだとは限らず、直接(b)から変化した可能性もあるのである。但し、これらのことは資料がとばしいため実証することは難しい。

なお、式保存の法則との関係については上野(1984)を参照。

2アにばらつきがあるものについて。

まずモーラ別・型別の語数をあげる。

2モーラ語 コ1とテ2 19語、コ1とコ0 1語、3種類以上の型 1語

3モーラ語 コ1とテ2 65語、コ1とコ0 11語、コ1とテ0 3語、3種類以上の型 9語。

- 4 モーラ語 コ1とテ2 37語、コ1とコ0 23語、コ0とテ0語 15、コ0とテ2 14語、テ2とテ3 5語、コ2とテ2 4語、コ1とコ2 3語、コ1とテ3 3語、コ3とテ3 2語、テ0とテ2 2語、コ0とコ3 1語、テ0とコ1 1語、テ0とテ3 1語、3種類以上の型 65語。
- 5 モーラ語 コ3とテ3 42語、コ3とコ1 23語、コ0とコ3 8語、コ3とコ4 5語、テ3とテ2 2語、テ2とコ1語、コ1とテ3 1語、コ0とテ0 1語、テ2とコ0 1語、テ2とコ2 1語、コ3とテ2 1語、コ4とテ4 1語、3種類以上の型 43語。
- 6 モーラ語 コ4とテ4 23、コ3とテ3 8語、コ4とコ5 8語、コ3とコ4 6語、テ2とコ4 4語、コ4とコ1 4語、コ3とコ5 2語、テ2とテ4 1語、コ5とテ5 1語、3種類以上の型 27語
- 7 モーラ語 コ4とテ4 12語、コ5とテ5 11語、コ6とテ6 2語、コ5とコ0 1語、コ4とコ5 1語、コ5とコ6 1語、コ4とコ1+コ1 1語、3種類以上の型 6語。
- 8 モーラ語 コ5とテ5 3語、コ6とテ6 3語、コ6とコ7 1語、3種類以上の型 4語。

下線部が語数の多いものである。これらについて、モーラ数別にいくつか述べる
5モーラ以上では、基本ア型と、それと核の位置が同じで式のみが異なる型のばらつきが多い。基本ア型以外についても、核の位置は同じで式のみが異なるというばらつきを示す語が多い。数の上では、全員が低起式でそろって出るもの（1節参照）よりも、このばらつきを示すものの方がはるかに多い。一部は複合語で、前部要素が単独の語として使われた場合のアが、式の異なる二つの型でばらついているために、式保存の法則にしたがって、複合語でもばらつきが生じることがある（例：トマト(テ2,1)、トマトジュース(テ4,4)）。しかし、むしろ単純語でもこのタイプのばらつきは多い。悪い意味との関係で低起式が現れるものもあるが、これと言った理由も見あたらないのに低起式が散発的に現れるものも多い。

このタイプのばらつきを示す語彙については、話者によって高起式・低起式の現れる割合が若干異なる。5モーラ以上の語で、基本ア型以外のものも含めて、各話者別に、このタイプのばらつきを示す語彙の中で、低起式の現れる割合を下に示す。同一話者内で低起・高起併用の場合は0.5と数える（表では四捨五入して示す）。

「調査語数」は該当する語彙で各話者に聞いた語数から、無回答・無記載（＜平綴＞）を除いたもの。以下において、「高起式低起式揺れ」のように「揺れ」という語を用いることがあるが、これは、何人かの話者を調べるとアが一致せずばらつくという意味で、一人の話者の中では「揺れている」とは限らない。

下表では、明瞭な世代差も見られないが、高齢の一部の話者に高起式が比較的多く現れる、とは言えるかも知れない。

	真	筆	和	三	栗	林	中	長	橋	大	田	泉	平	樫	千
低起式語数	48	49	50	50	41	36	31	26	64	50	34	37	38	21	40
高起低起 ₁ 調査語数	98	99	100	100	99	97	97	100	100	100	100	98	69	83	98
低起式出現%	50	50	50	50	41	36	32	26	64	50	34	38	54	25	41

4モーラでは基本A型としたコ1・テ2の両形にばらつくものが多く、このことから、コ1・テ2のどちらか一方を基本A型とすることは困難と考えられる。それについてこれらの型とコ0型（漢語の基本A型）にばらつくものが多い。

2・3モーラではコ1型とテ2型にばらつくものが多い。これらは、略語・悪い意味を持つ場合が多い（金田一1985、拙稿1987b・1988c）。ここで注意すべきは、そういった語彙でも、全部の話者がテ2型で安定しているものはごくわずかで、コ1でかなり安定しているものや、テ2とばらつくものが大部分であるということである。

2モーラについてはだいたいこれで説明できるが、3モーラテ2型の場合はそれだけでは説明できないものも多い。それ以外の説明として、最も有効なのは、語末モーラがモーラ音素の場合はテ2になりやすい（吉原1983）ということである（稿末一覧表参照）。また、ある程度原語のアと関係付けられるものもある（3節参照）。しかし、理由がよくわからないのに散発的にテ2が現れるものがある（例：カナダ、カメラ、ダブル）。こう言った語彙はある程度よく熟した物が多いとは言えるにしても、なぜ特定の語彙にだけテ2が現れるのかははっきりしない。あるいは第2第3モーラに有声子音が含まれている場合に多いかとも思われる。この問題については6節も参照。

話者別に2・3モーラコ1とテ2の現れる割合を下に示す。ここで「m」は促音以外のモーラ音素を示す。拙稿(1988a p.50)「け」で、3モーラテ2型はある程度若い人の方が多いと書いたが、下表では、必ずしもそうは言えない。これは、本稿の若い方の話者（＜真筆＞）のアが同世代の平均的な話者に比べてかなり保守的であること（拙稿1988c）と関係するかも知れない。また、コ1とテ2の両方のアが行われている場合、テ2はある程度「田舎臭い」「よくない」といった印象を与えることがあるので、話者の「好み」で、コ1が多かったりテ2が多かったりすることがあるようである（上記拙稿）。従って単純な世代差といった形では出てこない可能性が高い。さらに若年層では共通語化その他の要因なども考慮しなければならない。ただ、老年層の話者については、テ2が少なくコ1が多い話者（＜栗安田泉早

千>)は、外来語がやや「苦手」であることと関係するらしく思われる。ある程度その語が話者にとって親しいものであることが、テ2になるための、一つの必要条件なのであろう。

2 モーラ	真	筆	和	三	栗	林	中	長	橋	安	大	佐	田	泉	平	煤	早	千
テ2語数	3	4	7	6	4	10	9	11	12	7	11	11	4	3	5	4	7	6
テ2・11語数	14	20	20	20	17	20	18	20	20	16	29	15	19	12	14	16	11	17
テ2出現%	21	18	33	30	24	48	50	53	58	44	53	73	18	25	36	24	64	35

3 モーラ

〇〇m以外

テ2語数	9	14	13	12	11	22	20	18	20	9	22	14	9	14	17	23	10	11
テ2・11語数	39	40	40	40	34	39	40	40	40	34	40	34	37	34	40	38	32	34
テ2出現%	22	35	33	30	32	55	50	45	49	26	54	40	23	38	43	59	30	32

〇〇m

テ2語数	14	17	16	12	12	17	12	15	18	5	15	17	10	8	14	18	11	11
テ2・11語数	35	35	35	35	29	35	35	35	35	30	35	29	32	30	35	33	26	22
テ2出現%	40	49	44	33	40	47	34	43	50	17	40	57	30	25	40	55	42	50

〇〇m・それ以外計

テ2語数	23	31	29	24	23	38	32	33	37	14	36	30	18	21	31	41	21	22
テ2・11語数	74	75	75	75	63	74	75	75	75	64	75	63	69	64	75	71	58	56
テ2出現%	30	41	38	31	36	51	43	44	49	22	47	48	26	32	41	57	35	39

3. 原語のアとの関係について。

従来、原語のアは外来語のアにはそれほどひどくは影響は与えないといわれており（楳垣(1943)など）、筆者もそれに同意するが、両者はまったく無関係ではない。以下、関係があると思われる場合について述べる。原語が英語でかつ単純語の場合についてのみ扱うことにする。なお、本節にあげる例の一部は稿末の資料によらず、筆者自身の内省にのみ基づくものがある。

外来語のアへの影響を考える前に、京都アの話者が、外国語として英単語を単独言い切りで発音する場合や、英語のネイティブスピーカーが英単語を単独言い切りで発話する場合の音調について述べる。外国語として聞いたり発話したりする場合も、通常は、程度の違いはあれ、京都方言の音韻・ア体系に引きつけて聞いたり発話したりしているため、外来語のアと、外国語としての発話・聞き取りの音調は、或程度は関係があると思われるのである。ここでは、外国語として発話・聞き取りをする時、特に京都方言に「強く引きつけた」場合について述べる。

「式」（上昇位置と、大幅な下降に出会うまでの音調）について。外国語としては、英語で語頭音節に強勢がある場合（京都アでは原則的にはコ1型で受け入れる）を除き、「低起式」と同じ音調で発音したり聞こえたりするのが原則である。例：パー「セ」ント～p r「se」nt。

「下げ核」（下降の位置）については次の(1)～(3)の通りと思われる。

(1)英語で強勢がある音節が(C)V。(ここでV。は「短母音」)の場合。この場合、英語で強勢がある音節を、1モーラとして発話したり聞こえたりし、そのモーラのあとに「核」。例：「メ」ニュー、「パ」ナマ。

(2)英語で強勢がある音節が(C)V。(ここでV。は「長母音」または、後半が「i」の二重母音)または(C)VN(ここでNは任意の鼻子音)の場合。この場合、英語で強勢がある音節は、2モーラ1音節として発話したり聞こえたりし、その音節の第一モーラに「核」。例：「ア」ーモンド、「ハ」イキング、「ナ」ンセンス。

(3)英語で強勢がある音節が、2モーラ2音節として発話したり聞こえたりする場合。この場合は二つに分かれる。

英語で強勢がある音節が二重母音を含み、その二重母音の後半部がi以外の場合、日本語側では連母音(または連母音+引き音)として受け入れる。その際その連母音の第一モーラに核がある。例：「エ」アー、「ア」ウト。

英語で強勢がある音節の、初頭に子音連続があるand/or末尾に鼻子音以外の子音または子音連続があるとき、日本語側で母音を挿入した場合である(母音挿入の規則については略す)。この場合、挿入した母音を含む音節ではなく、原語にもともとある母音(に対応する母音)を含む音節内部に「核」がある。そしてその母音を含む音節が長い場合は、その第一モーラに「核」がある。例：ス「キ」ー、プ「ラ」イバシー、ト「ラ」ンク。なお、英語で閉音節の場合、日本語で「核」のあるモーラの後に促音を挿入することがあるが、この場合も「核」は動かず、促音のあとに下降がある。例：「ヒッ」ト。

但し、上記の「核」の位置についての(2)には例外がある。

(a)パー「セ」ント、エクス「パ」ート(英語で語末音節に強勢がある場合)。

(b)「モ」ーニング～「モー」ニング、「チャ」ンピオン～「チャン」ピオン(英語で語頭音節に強勢がある場合)。

(c)ア「パ」ートメント～ア「パー」トメント、センティ「メ」ンタル～センティ「メン」タル(英語で語中音節に強勢がある場合)。

(a)は原則通りの音調のみ。(b)(c)には例外の2モーラ1音節全体が高い音調も現われる。(b)(c)でも、とくに聞き取りではなく発話の場合には、原則通りの音調のみのことが多いと思われるが、調査不十分で断言はできない。なお、(a)に例外的な音調が現われないのは、英語では、ポーズの直前の音節では下降の位置や大きさが

他の位置の音節と異なっていることが影響しているのかも知れない。

次に外来語としてのアとの関連について述べる。

式については、上述のように外国語としては、「低起式」であるが、外来語としての音調では、特に英語にある程度親しんでいる話者に低起式が多いともいえず（2節表、但し5節参照）、不明である。

核については、外国語としての音調に近いものが、英語にある程度親しんでいる話者に現われやすいと言えそうである。但し、上記(2)の例外の(c)は外来語としての音調には現れない（低起式で2モーラ高い型は不可）。例外の(b)については後述。

核について具体的にみて行こう。基本ア型に属するものは、原語のアの影響の有無が不明瞭なので略する。基本ア型のもう一つ左のモーラに核があるものも、そのモーラの次がモーラ音素のものが非常に多く、そのせいで核が左にずれたとも考えられ、よくわからないので略する。これ以外で、原語のアの影響と思われるものに、次の(1)(2)の二つのタイプがある。

(1) 5モーラ以上でコ1型と基本ア型のばらつきがでる場合、コ1型は原語のアの影響かと思われる場合が多い。

5モーラコ2型で、かつ第二モーラがモーラ音素の場合も原語のアと関係があるかと思われるが、これについては次節参照。6モーラ以上については、調査語例が少ないので略す。

下に、5モーラでコ1とコ3・テ3のばらつきがでる語で、コ1型の出現%を話者別にあげる。外来語の苦手な<田泉千>にコ1が少ない（但し<栗>は例外）。ことから上に書いたことが裏付けられよう。なお、「アドバイス(j1)、タンパリン(j1)」のような「正しくない」アも現われることに注意。

	真	筆	和	三	栗	林	中	長	橋	大	田	泉	平	榎	千
コ1語数	23	22	18	18	17	14	20	22	20	23	8	1	12	21	12
コ1コ3コテ3調査語数	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	34	33	32	35
コ1出現%	63	60	49	50	46	39	57	60	54	63	22	3	36	66	34

(2) もう一つは2節で述べた、3モーラで、○○mかつテ2型のものである。この場合、第一モーラは日本語側で母音を挿入してできたものが多く、原語の音調の影響を受ければテ2型になることが予想される。ここでも<安田泉>にテ2型が少ない（但し<栗早千>は例外的）ことは、ある程度は原語のアと関係があることを示していよう。

4. モーラ音素との関係について。

外来語においてはモーラ音素が核を担う場合は非常に少なく、促音以外の場合は、モーラ音素の前のモーラに核がある場合がほとんどである（小暮1982その他に指摘）。促音の場合は拙稿(1988a p.45)に述べたことが、具体的な音調・対立のあり方ともに、そのまま当てはまる。以下においては促音以外の場合についてのみ考えていく。

基本A型との関連で考えると、基本A型だとモーラ音素が核を担うことになる場合は、その前のモーラに核があることが多い。例：

4 モーラ ○m○○……テ2はほとんどなくコ1が多い

5 モーラ ○○m○○……コ3テ3はほとんどなくテ2が多い

6 モーラ ○○○m○○…コ4テ4はほとんどなくコ3テ3が多い

ここで、5モーラでコ2型があまりないのは、京都アでコ2が嫌われると言うことと、原語の音調など関係しよう。具体例は稿末一覧表を参照。

この現象は、共通語の影響と考えられないこともないが、顕著な世代差もないことから（但し後述の「例外」参照）、少なくともこの現象のすべてをそのせいだとすることはできない（cf. 漢語・和語の場合）。

別の理由としては、原語の音調との関連が考えられる。3節で述べたように、京都アの話者にとって外国語としての英単語は、「低起式でモーラ音素の前のモーラに核がある」音調に近く発音したり聞こえたりするのである。あるいは、こちらのほうがより重要な理由かも知れないが、さらに考えるべきである。

ところで、外来語ではモーラ音素が核を担いにくいというのは、あくまで傾向であって、絶対的な規則ではない。少ないながら（特に老年層）、モーラ音素が核を担う例がある。それらを列挙する。「多」とあるのは4名以上の話者に例外が現われるもの。

(a) カレンダー(平テ3)、クローバー(大テ3)、コロンブス(千テ3)、スキーヤー(大田テ3)、ステンレス(大田千コ3)、フライパン(多テ3コ3)、ブランデー(大樫コ3)、レモンティー(多コ3)、ネクタイピン(多コ4)、ホンコンシャツ(多コ4)、サラリーマン(大田コ4)、スーパーマン(多コ4)、チンパンジー(樫コ4)、ピーターパン(多コ4)、スチュワーデス(樫コ4)、トロリーバス(栗コ4)、ナンバーワン(栗長橋コ4)、BCG(泉コ4)、PTA(田コ4)、ファッションショー(多コ4)、ワンマンカー(多コ4)、ワンマンショー(多コ4)。

(b) タンゴ(林長テ2)。

(c) インタビュー(樫コ2)、タンバリン(林コ2)、トースター(樫コ2)、マーガリン(林樫コ2)、マーケット(林コ2)、モーニング(林橋コ2)、ランデブー(樫コ2)、インスタント(中コ2)、サイクリング(林大樫コ2)、トーナメント(橋大樫コ2)。

(d) オーケー(多コ2)、シャンパン(三コ2)、バイバイ(真コ2、三テ2)、ツェーダン(長コ2)、ワンマン(長コ2)。オープン(早テ2)。

上例中、(a)は基本A型になっているものである。基本A型の場合には、数は多くないとは言え、核が前にずれないことがある例である。ここで、「多」の例はいずれもモーラ音素の後に形態素の切れ目があり、その後に2モーラの要素がついている。この場合、複合名詞のA規則（次節参照）からもモーラ音素に核がくることが予想される。基本A型と複合名詞のA規則の二つが、モーラ音素に核がおきにくいという傾向と競合して、勝った例である。

(b)は珍しい例で、基本A型からもはずれている。あるいは地名の「丹後」(テ2)との牽引であろうか。

(c)は、いずれも語頭の音節内に核があり、3節で述べた原語の音調の聞こえかたや発音の例外が関係すると思われる。この(c)の音調は一部の話者にしか現われないうし、その話者についてもごく一部の語にのみ現れ、大部分は「正規の」○⁷mである。高齢で、かつ外来語が苦手でない話者に現われるようであるが、その条件はあまり明瞭ではない。

(d)も(c)と同様の解釈が可能であるが、テ2も現われるし、(c)とは異なる話者に現われることも問題であろう。またツーダン、ワンマンの例は2+2に切れることと、バイバイ・オーケーは何らかのイントネーションと関係があるかも知れない。

5. 複合名詞のAについて。

本稿では、「複合名詞」を秋永(1981)の「結合名詞」の意で用いる。同書の「癒合名詞」は、外来語の場合は2+2のものに限られ、例がごく少ないので略する。

外来語の場合は、よほど外国語に堪能でなければ、話者にとって語構成などは十分透明でないことが多いと思われる。そのため、和田(1951)にも述べられているように「正しい」語構成とは別に、話者が「適当に」いくつかに切ってしまうことがあり、それがAに反映することがあると思われる。しかし、一般の話者を相手にした調査ではそう言ったことをいちいち確認するのはたいへんむずかしい。本節では、一応話者が「正しい」語構成を意識していると仮定した上で考察して行く。

まず式保存の法則について。外来語でも、和語・漢語同様、式保存の法則はほぼ成り立ち、また、例外も若干ある。以下にその例外を列挙する。

各語の右側の話者が例外となる人（それ以外の話者は例外にはならない）。「前部要素が、単独の語としてコ・テ併用、複合語でコまたはテのみ」及びその逆の場合は、確認調査をすれば「単純語複合語ともにコ・テ併用」の可能性があるので省く。以下にあげる語集の一部も、確認調査をすれば例外でなくなる可能性もないではないが、とりあえず列挙する。なお、複合語は調査しても前部要素単独のAを調査していない場合が若干あるが、それらはとりあげない。

(1)前部要素単独で高起式・複合名詞で低起式のもの(14語)：カツライス(橋大)、

ボディービル(田泉千)、レモンティー(橋)、バックネット(真筆和三平)、バックミラー(真筆和三平)、バレーボール(中長大樫)、ボディーガード(田)、ミスプリント(真筆和三林 中長橋平樫(但しミソプリントなら例外ではなくなる))、アイスクリーム(真筆和三栗林中長大田泉平千)、ラグビーボール(中橋千)、ラッキーセブン(橋大千)、アイスクャンデー(真筆和三栗林橋田泉平千)、アイスコーヒー(真筆和林橋田泉千)、アイスホッケー(真筆和三林橋田泉平千)。

(2)前部要素単独で低起式・複合名詞で高起式のもの(13語)：スポーツカー(長大)、スポーツマン(長大)、トマトジュース(林)、フランスパン(和)、スケートリンク(長)、スタートライン(林長大)、スタンブインキ(長樫)、ホワイトハウス(林長大佐田泉樫)、オレンジジュース(田)、トマトケチャップ(林)、アセチレンガス(大平樫)、スチームアイロン(千)、スポーツセンター(橋)。

(1)(2)両方が現われるもの(3語)：プロパンガス(長(1)林(2))、スケッチブック(林(1)樫(2))、コンタクトレンズ(泉(1)大(2))。

上記(1)と(2)は、語数ではほぼ同じであるが、(2)はごく一部の話者にしか現われない語がほとんどであるのに対して、(1)は多くの話者に現われる語がかなりある。また、(1)はすべての話者に例が現われるが、(2)は<真筆三>(若い方の話者)には例が一つもない。老年層にやや例が多いのかも知れない(拙稿1988a p. 47-48「う」)。逆に(1)は若年層にやや多いのかも知れないが、何とも言えない。また、(2)の前部要素は4モーラテ2型のものが多いが、これは、4モーラのみが基本A型が低起式だが、他のモーラ数では基本A型が高起式であることと関係するのかも知れない。しかし、なぜ特定の語集にのみ例外が現われるのかははっきりしない。

次に核の位置について。

核の位置については、和田(1942, 1951)に述べられていることがそのまま外来語に当てはまるので繰り返さない。但し、後部要素が単独で3モーラテ2型の場合、外来語は和語や漢語よりもややその核を生かす場合がやや目立つようである。例：オールスター(5, 4)、クリスマスツリー(7, 6)。原語の音調と関係するのであろう。

なお、和語・漢語については、後部要素が単独で3モーラコ2テ2型の場合、<千>とそれ以外の話者でAが異なることが多いのであるが(拙稿1988a)、外来語の場合はそういった語はあまり目立たない。これは、ある程度は<千>のAが共通語や京都旧市内のAに影響されているということもあろうが、むしろ上記のように旧市内のAで核を生かすことが多いためであろう。

6. 共通語Aとの対応について。

共通語Aとの対応については、逐一調査したわけではないので、和田(1951)、奥村(1961)、小暮(1982)などを利用しながら、問題になりそうなことに若干ふれるに

とどめる。

従来、外来語では、共通語アと京都アは核の位置が一致する語が大部分であることが指摘されている。しかし、その原因については必ずしも意見が一致しているわけではない。

小暮上記論文では、「共通語アを耳から聞いて、その音調に”一番似ている”京都アの型で受け入れたためである」とする、そして根拠として、「5モーラ外来語はコ3型が多いが、関西の5モーラ基本ア型は、テ4型であって両者が一致しない」ことがあげられている（関西の5モーラ基本ア型をテ4型とするのは寺川他(1944)に従ったものであろう）。

しかし、上述のように、京都ア（おそらく近畿中央部の中央式ア全般）の5モーラ基本ア型はテ4型ではなくてコ3型であって、実は両者は一致しているのである。従って、共通語アの影響ではなくて、単に京都アの基本ア型に従っているだけなのかも知れないのである。共通語アの影響の有無については断定的なことは言えない。もちろん京都ア若年層における共通語化は顕著であるが（拙稿1987b、1988c）、外来語の場合は老若のアの差があまりなく、少なくともすべてを共通語のAの影響とすることは如何かと考える。

ところで、小暮(1982)によると、共通語アと核が一致しないものが若干ある。そこにあげられているもので、語数が多く、また注目されるのは、2モーラ「共通語1ー京都テ2」3モーラ「共通語1ー京都テ2」のものである。2モーラでは、京都アでテ2が現れるほとんどの語がこれに該当するし、3モーラでは、〇〇m以外の語彙の多くがこれに属する：アダム、アテネ、アロハ、オフィス、カナダ、カフェ、カメラ、クイズ、クラブ、グリル、ゲリラ、ココア、ゴリラ、コロナ、シネマ、ダブル、タンゴ、テレビ、トイレ、ドラマ、ドレス、ニグロ、バナナ、パナマ、プラグ、ブラシ、フラノ、ラジオ、マダム、マニヤ、マニラ、ラベル、ロシア。これは、ES生(1983)以来話題になっている「共通語Aと対応を作り上げる」ということに関係する可能性がある例である。それに関連して拙稿(1988b)p. 50、(1988c)も参照。いずれにしても、この現象は散発的にいくつかの語にみられるものであって、「生産的に”共通語1ー京都アテ2”の対応を作り上げる」、あるいは「3モーラ外来語の基本ア型はテ2型である」、あるいは「3モーラコ1型は京都アでは嫌われる型なのでテ2型に変換して外来語を受け入れる」（山口1986）ということが言えるほどではない。

7. 話者の「孤癖」について。

各話者に現われる孤例の数を下に示す。但しく安佐早>は未調査語数が多いので、その話者については対象外とする。

話者	真	筆	和	三	栗	林	中	長	橋	大	田	泉	平	煤	千
孤例数	14	1	1	9	5	11	11	11	19	23	10	22	11	58	15

＜煤＞に孤例が多い。一部は誤植によるものかと思われる。しかし、英語のアの影響と思われる物もあるようである（拙稿1988a p.50「け2」）：例「アロハ(ㇿ2)、ドレス(ㇿ2)」。これに対し、＜筆和＞は非常に孤例が少ない。＜和＞は＜三＞と同席で調査し、主に＜三＞に読んでもらって、＜和＞はそれと違う場合に指摘する、という方法が影響しているものかと思われる。＜筆＞については、調査・整理を通じて色々な話者のアの知識を持っているので、無意識に「無難な（そして古い）」アを選んでしまうということがあるかもしれない。

また、全般に孤例の数は非常に少ない（調査語彙の1%内外）。＜千＞は昇核現象が起こっていないという点で他の話者（旧市内）とは異なり、和語・漢語ではもっと多くの孤例が出るのであるが、外来語の場合はそういったことはない。これは、一つには京都旧市内のアや共通語の影響ということも考えられるが、その他に、昇核現象を起こしていないアにおいても、昇核現象に関わる型（例：3モーラコ2型）は、既に「基本A型・好まれる型」ではないからであろう（1節も参照）。

8. その他のいくつかの問題について。

アルファベットを並べた語（PTA、YMCAなど）のアについて。核の位置については次末モーラにある話者が多い（吉原1982p.18）。但し、もう1モーラ左にずれて次々末モーラに核が置かれたり（基本A型化）、そこがモーラ音素であるためにさらにもう1モーラ左にずれることがある：PTA(ㇿ5,ㇿ5,ㇿ4)、SOS(ㇿ5,ㇿ3,ㇿ3)。式については原則として高起式であるが、＜大＞と一部＜林＞などに低起式が現われる。孤癖であろうか。

省略語のアについて。吉原(1982p.19)では、省略語のアは「2モーラではコ1テ2、3モーラではコ1（さらにコ0も）、4モーラではテ0とされているが、現実にはそれほど単純ではない。2モーラについては問題はない。3モーラではコ1以外ではテ2が多く、コ0や（指摘されていないが）テ0（例：カレー）などは少数。

5モーラ以上の、「対立・対照・並立する語の重なった」外来語のアについては、原則として吉原(1982p.19)の指摘通り、複合名詞（5節）のア規則に従うが、一部の話者に2語連続の形も現われることがある：プラスマイナス(ㇿ4,ㇿ1+ㇿ0)。2語連続の形は、その一部は、話者があまり使わない語であるために、「苦し紛れに」読んだアの可能性もある。

畳語のア。吉原(1982p.20)はコ1とするが、そうとも限らないよう：バイバイ(ㇿ

0、テ2、ユ2、ユ1)、ゼロゼロ(テ0、テ3、ユ1+ユ1)。外来語の疊語は非常に例が少ないし(4モーラのみか)、そのわずかな例も和語・漢語の場合と異なり、意味的にまとまっておらず、それらを一括してアの傾向を考えること自体問題かも知れない。

拙稿(1988a p.50)「け」に関連して、「○○ッ○」でコ1・テ2に揺れるものについて(一部訂正を含む)。まず、これに該当するものをまとめて、コ1の出現数を下を示す。

	真	筆	和	三	栗	林	中	長	橋	大	佐	田	泉	平	榎	早	千
コ1語数	7	4	3	8	2	8	6	8	5	4	9	3	3	1	11	3	1
テ2・ユ1・ユ2調査語数	22	22	22	22	19	22	22	22	22	22	19	22	19	21	21	19	19

ここでは明瞭な世代差などは不明である。なお、○○ッ○以外でコ1テ2に揺れるものも、明瞭な世代差は現れない(数字の提示は略す)。

しかし、○○ッ○でコ1テ2に揺れるものを、共通語で、(1)共ア1・2揺れ、(2)2のみ、のどちらで対応するかに分けて考えると、(2)に関しては比較的明瞭な世代差がみられる。なお、共通語で上の(1)(2)以外の対応を示す語はない。(2)に該当する語彙はアベック、ケチャップ、スコッチ、スコップ、ステッキ、ブリッジの7語である。下表からわかるように若い話者<真筆和平>にはコ1型が一語も現れず、テ2のみである。

	真	筆	和	三	栗	林	中	長	橋	大	佐	田	泉	平	榎	早	千
対応(2)ユ1語数	0	0	0	2	1	5	3	4	3	2	5	3	2	0	2	2	0
対応(2)調査語数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

これは、共通語化ということで説明できる。また「アベック・ケチャップ」以外は、原語のアに近付ける変化ということでも説明できる(3節参照)。いずれが主要な原因か不明。なお、「アベック」のコ1は<榎>のみに現れるので、例外的な物かもしれない。

「スケッチ、スコッチ、スコップ、ステッキ、ブリッジ」のコ1は、原語の子音連続の間に母音を挿入した、その挿入母音を含むモーラに核があり、珍しいものであるが、なぜ京都ア老年層の一部で、そのような型になるのかは不明である。

引用文献

秋永一枝(1981)『明解日本語アクセント辞典』 東京：三省堂。

- E S 生 (1983) 「外来語アクセントの対応について」 『国語学』 132, 82-84.
- 煤垣実 (1943) 『日本外来語の研究』 京都: 青年通信社
- 上野善道 (1983) 「アクセント調査語彙用参考資料—体言篇(2)」 『アジア・アフリカ文法研究』 11, 93-236
- 上野善道 (1984) 「類の統合と式保存」 『国語研究』 47, 1-53
- 上野善道 (?) 『アクセント調査票D』 私家版
- 奥村三雄 (1961) 「漢語のアクセント」 『国語国文』 30の1, 1-16
- 金田一春彦 (1985) 「諸家のアクセントの研究を読んで」 『国語学』 141, 89-94
- 小暮紀子 (1982) 「東西外来語アクセントについての考察」 『日本方言研究会第34回発表原稿集』, 37-46
- 桜井茂治 (1975) 『古代国語アクセント史論考』 東京: 桜楓社
- 寺川喜四男 (1951) 「アクセントの基底としての『話調』の研究」 『国語アクセント論叢』, 541-625 東京: 法政大学出版
- 寺川喜四男・日下三好 (1944) 『標準日本語発音大辞典』 京都: 大雅堂
- 中井幸比古 (1987a, 1988a, 1988b) 「現代京都方言のアクセント資料(1)(2)(3)」 『アジア・アフリカ文法研究』 15, 53-159 16, 45-98 私家版, 1-134
- 中井幸比古 (1987b, 1988c) 「京都旧市内における若年層のアクセント(1)(2)」 『国語研究』 (国学院) 50, 1-26 51, 1-37
- 平山輝男 (1960) 『全国アクセント辞典』 東京: 東京堂
- 山口幸洋 (1986) 「アクセントの変換作用について」 『国語学』 146, 78 (1986. 5国語学会研究発表要旨)
- 吉原保 (1983) 『東京語大阪語アクセント辞典』 大阪: タイムス
- 和田實 (1942) 「近畿アクセントに於ける名詞の複合形態」 『音声学協会会報』 71, 10-13
- 和田實 (1951) 「赤とんぼ—いわゆる『基本アクセント型』におちいる語の処置など—」 『国語アクセント論叢』, 67-90 東京: 法政大学出版
- (なかいゆきひこ・京都大学研修員)

調査結果一覧

「全員コ1」のように示したのは、「その語を調査した話者全員（全話者について調査したとは限らない）、またく平様」に記載されている場合はそれも含めて、コ1」の意である。

「コ1・テ2 揺れ」のように示したのは、「話者によって、コ1の人とテ2の人がいる」意である。一人の話者がコ1とテ2の両方のアを持っているとは限らない。その場合、具体的に、各話者がどのようなアを持つかは原則的には示さない。但し、一人の話者のみがそのアを持つ場合（孤例）は、その話者の名をあげる。例えば、「タフ(31,林?2)」は「<林>のみはテ2（またはテ2・コ1の併用）、ほかの調査した話者全員コ1（<平様>に記載されている場合はそれもコ1）。

「ステレオ(30,?0,?2,泉?3)」は、「<泉>のみはテ3（またはそれとコ0テ0テ2との併用）、ほかの調査した話者の2名以上がコ0テ0テ2のいずれかまたはそれらの二つ以上のアを持つ」ことを示す。

各語の意味や、音訛については省略する。この点に関して3モーラまでは拙稿(1987a, 1988ab)を参照。

項目の立てかたは上記拙稿に倣ったため、些細な音訛を別立てにするなど一部不統一な点があるがご容赦願いたい。

2 モーラ (70語)

全員コ1 (45語)

イブ	カツ	ガム	ギア	キー	キス	ギャラ	キロ	ゴム	ジャズ	シャツ	ジャム	ショー	ゼロ	ソロ	タイ
ダム	チェコ	チェス	チェロ	チャコ	ドア	ドル	ニュー	バス	バス	パパ	ハム	パン	ビル	ピン	ベア
ヘリ	ベン	ボス	ママ	ミス	ミス	ミニ	ミリ	メス	ラオ	ラシャ	ラブ	リラ			

全員テ2 (3語)

サボ セコ ヒス

全員テ0 (1語)

カン

コ1・テ2 揺れ (19語)

アマ	エロ	グロ	コネ	スト	チョコ	デマ	デモ	ネガ	ブル	モガ	モス	モボ	ロケ	タフ(31,林?2)
テロ(31,大?2)	フル(31,中?2)	ルビ(31,橋?2)	ロス(31,林?2)											

コ1・コ0 揺れ (1語)

ヒレ

その他 (1語)

スフ(31,?2,橋?0)

3 モーラ (382語)

全員コ1 (281語)

アーチ	アール	アウト	アップ	アルト	インキ	インク	ウール	エース	エラー	オイル	ガーゼ
カード	ガード	カーブ	カール	ガイド	カイロ	カウス	ガウン	カット	カップ	カバー	カラー
カラ	カルタ	カルテ	カンア	ギター	キック	キッス	キャスト	キャッチ	キャップ	キャベツ	ギャング
キャンブ	キューバ	ギリシャ	キルク	キング	クラス	グラム	グラム	グレイ	ケーキ	エース	ゲーテ
ゲーム	ゲスト	ケット	コイン	コース	コーチ	コート	コート	コード	コーラ	ゴール	コスト
コック	ゴッホ	コビー	コブラ	コルク	ゴルフ	ゴング	コント	コンマ	サード	サーフ	サイズ
サイド	サック	サドル	サラダ	サロン	シーツ	シート	ジープ	シール	ジャケツ	ジャスト	シャッポ
シャベル	シャワー	ジャンプ	ジャンル	ショール	ジョッキ	ショック	スイス	スープ	ズック	ズボン	セーフ
セット	ゼリー	センス	センチ	ソース	ソーダ	ソナタ	ソフト	ダース	タイプ	タイム	タイヤ
タイル	ダウン	タオル	ダッシュ	タッチ	ダリヤ	タンク	ダンス	ダンプ	チーク	チーズ	チーム
チェック	チェンジ	チッキ	チック	チップ	チビス	チフス	チャイム	チャンス	チューブ	チョーク	デート
テープ	テーマ	テスト	デッキ	テニス	テラス	テント	テンボ	ドイツ	ドック	トッパ	トッパ
ナイス	ナイフ	ナイン	ナチス	ナポリ	ニヒル	ニュース	ニューム	ヌード	ネット	ノート	ノック
ノット	ハート	ハーブ	パール	バイク	ハウス	バザー	パジャマ	バスト	バズル	バセリ	バター
バット	バッチ	バツハ	バトン	バルブ	バンチ	パンツ	ピアノ	ピーク	ピース	ビーズ	ビッチ
ヒット	ヒューズ	ヒュッテ	ビルマ	ピンク	ピンチ	ファウル	ファイト	ブーム	ブール	フォーク	ブザー
プラス	フラン	プレス	ページ	ペール	ベスト	ベダル	ヘット	ベット	ベリ	ペルー	ベルシャ
ペンキ	ベンチ	ベンチ	ホーク	ボーク	ホース	ボーズ	ボート	ホープ	ホーム	ホール	ボール
ボーロ	ポスト	ボタン	ボット	ホテル	ボブラ	ホルン	ボンボ	ボンベ	マーク	マーチ	マイク
マイル	マスク	マスト	マット	ミーラ	ミシン	ミセス	ミルク	ミレー	ミンチ	ムード	メダル
メロン	モード	モール	ヤード	ヤール	ユーゴ	ヨード	ヨット	ライス	ライト	ライン	ラスト
ラッシュ	ランチ	ランプ	リード	リスト	リズム	リボン	リュック	リヨン	リング	ルーズ	ルーペ
ルール	レース	レタス	レバー	レフト	レベル	レモン	レンズ	ロース	ローズ	ロープ	ローマ
ロダン	ワイフ	ワイン	ワット	ワルツ							

全員テ2 (7語)

ココア グリラ スキー スコア スベア スベル ドライ

全員コ0 (5語)

アルミ コップ ジバン ジュバン ラムネ

全員テ0 (2語)

チョッキ デフレ

コ1・テ2 揺れ (64語)

アデネ イエス オフィス カナダ カフェ カメラ クイズ クイン クラブ グリル ゲリラ コロナ
シチュ シネマ ジャパン スター スパイ スリル セビア ソファー タブー タンゴ デビュー テレビ
ドラマ トリオ ドリル ニグロ パナナ バレー フライ フライ プラグ ブラシ
フラノ ブラン フリー プレー ベビー ポテト マニラ メニュー ラジオ ラベル ルビー レビュー
ロシヤ ロビー

アダム (31, 大2) アロハ (31, 模2) カヌー (31, 模2) ダブル (31, 泉2) トイレ (31, 橋2) ドレス (31, 模2) ヌガー (31, 模2)
バナナ (31, 林2) プリン (31, 橋2) フレー (2, 泉31) マダム (31, 大2) マニヤ (31, 大2) レダー (31, 千2) ロマン (31, 模2)

コ1・コ0 揺れ (11語)

ビント ベルト ボーイ ボルト マント メード レール

オール (31, 真30) バイブ (31, 模30) ビエロ (31, 千30) モデル (31, 真30)

コ1・テ0 揺れ (3語)

バンク (31, 真30) バンド (30, 模31) ヒップ (31, 佐30)

その他 (9語)

アジア (2, 31, 安30) オペラ (31, 2, 大30) ベニヤ (2, 31, 30, 30) ベレー (2, 31, 泉30) ボビン (31, 30, 30, 田2)

モダン (31, 30, 30) モヘヤ (2, 31, 30) ユダヤ (2, 31, 中30) リレー (30, 2, 31)

4 モーラ (474語)

全員コ1 (164語)

アイドル	アクセル	アップー	アンカー	アングル	アンプル	ビールス	エジソン	エックス	エンジン
オープン	ガーター	カーボン	カクテル	カップル	カプセル	カラフル	カルテル	カロリー	キャッチャー
キャバレー	キャブテン	キャンセル	キャンディー	ギャンブル	クーラー	クッキー	クッション	ケーブル	コース
コーナー	コーラス	コスモス	コンパス	サーカス	サ0ビル	サイダー	サイレン	サッカー	サンキュー
サンダル	サンプル	シーズン	ジーゼル	シーソー	シグナル	システム	ジッパー	シナモン	ジャージ
ジャケット	シャッター	ジャングル	シャンソン	ジャンパー	ジंकス	シングル	シンナー	シンブル	シンボル
スーパー	セーター	セールス	セクシー	ゼスチャー	ゼッケン	セロハン	センター	ダービー	タイトル
タイマー	タクシー	タックル	タッパ	ダブルス	タンカー	チーター	チャーター	チャーハン	ツードン
デッサン	テトロン	トースト	ナイター	ナイロン	ナブキン	ナンバー	ニッケル	ネクター	ネクタイ
ノーダン	バーゲン	パーティー	バーナー	ハイヤー	パウダー	ハスキー	バステル	バックル	ハッスル
バッテリー	ハンガー	ハンサム	ハンター	ハンマー	ヒーター	ビーナス	ビーナツ	ビーバー	ビーマン
ビールス	ヒーロー	ビジネス	ビストン	パラソル	ビッケル	ビッチャー	ヒッピー	ビリオド	ヒロボン
ピンポン	ファスナー	ファッション	フィクション	フィニッシュ	フィルタ	ペーコン	ペンシル	マフラー	マルクス
マンション	ミキサー	ミックス	ミッション	メーカー	メーター	メーデー	メロディー	メンバー	モーション
モーター	ライター	ライバル	ライフル	ラッカー	ラッキー	ラッセル	ランナー	リーダー	リットル
レーズン	レーダー	レーヨン	レギュラー	レスラー	レッテル	レフリー	ローラー	ロッカー	ロンドン
ワイヤー	ワックス	ワッペン	ワンダン						

全員テ2 (83語)

アパート	アビール	アメーバ	イコール	ウインク	ウエーブ	ウオッカ	エリート	オバー	オリーブ
グラマー	グリーン	クリップ	グリッ	グループ	クレヨン	クローバ	グローブ	クロール	サファイヤ
スカート	スカーフ	スカウト	スカンク	スキップ	スケート	スケール	スコール	スタート	スタイル
スチーム	スチール	ステキー	ステージ	ステップ	ストーブ	ストップ	スナック	スパイク	スピーチ
スビート	スビツ	スプーン	スペイン	スペース	スポーツ	スマート	スモッグ	スランブ	スリッパ
スリッパ	ズロース	デザート	デザイン	テノール	デパート	トリック	ドリンク	トレード	トロイカ
トローチ	ナイーブ	バザール	ババイヤ	バリウム	バトカー	ビニール	ブラウス	ブラック	フレッシュ
ブローチ	ブロック	ポジション	ボタージュ	ボマード	ボリウム	ミサイル	ユニーク	ラジウム	リベート
レシート	レシーブ	レポート							

全員コ0 (41語)

アネモネ	アフリカ	アメリカ	アラスカ	アラビヤ	アルカリ	アルバカ	イギリス	イタリア	オムレツ
オランダ	オルガン	カシミア	カステラ	カツレツ	カルメラ	カンテラ	キャラメル	キリスト	ゲート
サボテン	シベリヤ	セメント	パノラマ	バリカン	ピストル	ピフテキ	ピラニヤ	ピロード	ブラチナ
フロント	ベリカン	ペンギン	マイナス	マシュマロ	マラリヤ	マリファナ	メリヤス	モルヒネ	リベリヤ

ワイシャツ

全員テ0 (6語)

トレパン ドレミファ パソコン プロレス リモコン ラジカセ

全員テ3 (2語)

SP コンクリ

コ1・テ2 揺れ (37語)

○○○以外

ウイルス カリエス シェパード シミーズ ツイスト トラブル トロフィー ニュアンス ブルマー ロマンズ
イメージ(72, 模31) オープン(31, 早72) パターン(72, 模31) バレード(72, 三31) レコード(72, 模31)

○○○

ケチャップ シロップ スイッチ スケッチ スコッチ スコップ ステッキ ソケット タラップ チケット
トロッコ パニック ブリッジ ポケットマジック ロボット

アベック(72, 模31) カセット(72, 三31) ドロップ(72, 泉31) バラック(72, 泉31) ラケット(72, 長31) ロケット(72, 模31)

コ1・コ0 揺れ (23語)

アマゾン アルバム アルプス オリオン サーベル ダイヤル チャンセル チャンボン トンネル ハードル
バーベル バイアス パラフィン ファースト ポイント マラソン マンモス メートル モルタル
コンドル(31, 中30) ハンドル(31, 千30) ビッコロ(31, 平30) ルンペン(31, 大30)

コ0・テ0 揺れ (15語)

インフレ エジプト ジーパン Tシャツ ハイカラ ハンカチ パンスト ヒレカツ ブラジル マスコミ
ミスブリ リューマチ アカシヤ(30, 千70) アスパラ(30, 佐70) アマチュア(30, 平70)

コ0・テ2 揺れ (14語)

グラッド スタンド スバルタ スポイト ツイード プライド ブレンド ブロンズ ブロンド
カナリヤ(30, 三72) フラスコ(30, 模72) プリント(30, 模72) ブロード(30, 模72) ヘルニア(30, 真72)

テ2・テ3 揺れ (5語)

スクリュウ ストロウ スプレー ガソリン(73, 栗72) スクラム(72, 長73)

テ2・コ2 揺れ (4語)

セリーグ フィナーレ バリグ ビタミン(72, 模32)

コ1・テ3 揺れ (3語)

ラグビー エブロン(31, 林73) シャンプー(31, 模73)

コ1・コ2 揺れ (3語)

ツグダン(31, 長32) ワクチン(31, 平32) ワンマン(31, 長32)

コ3・テ3 揺れ (2語)

アンベア OL

テ2・テ0 揺れ (2語)

トランク トランプ

テ0・コ1 揺れ (2語)

バイパス ラジコン(70, 泉31)

コ0・コ3 揺れ (1語)

ジャンパン(30, 模33)

テ0・テ3 揺れ (1語)

S F

その他 (66語)

アイデア(73, 33, 31)	アクリル(33, 31, 73, 70)	アンテナ(30, 70, 73, 千33)	インテリ(70, 73, 30)	エナメル(30, 平72, 早31)
F M(73, 70, 33)	オアシス(31, 72, 和30)	オーケー(31, 32, 模33, 橋73)	オーライ(31, 30, 70, 32)	オーロラ(30, 70, 33)
オレンジ(30, 72, 31, 32)	カウント(30, 31, 栗72)	カタログ(73, 30, 32, 田33, 模31)	カラット(31, 72, 32)	キュービー(72, 31, 30)
コーヒー(70, 橋72, 千73)	コロッケ(72, 31, 30)	コンソメ(70, 30, 模73)	ジグザグ(70, 72, 30, 31)	シャンパン(31, 30, 三32, 真33)
スタミナ(30, 72, 長70)	スタンプ(72, 70, 泉31)	ステレオ(30, 70, 72, 泉73)	ストレス(72, 三31, 長70, 模73)	スピード(72, 30, 70)
スポンジ(30, 770, 72)	スライド(30, 72, 70)	セカンド(31, 72, 30, 平70)	セコハン(70, 73, 72)	ゼネスト(72, 泉31, 三32, 中70)
セミプロ(30, 70, 模32)	ゼラチン(73, 31, 32, 30)	ゼロゼロ(70, 73, 31+31)	タレント(30, 31, 72)	タンニン(31, 30, 千33)
チベット(31, 72, 30)	ドーナツ(31, 33, 中70)	ネグリジェ(73, 33, 30)	バイバイ(30, 三72, 真32, 千31)	バランス(70, 72, 模31)
ヒマラヤ(30, 真70, 三73)	ヒロイン(31, 72, 田32)	フィアンセ(31, 72, 32)	フィルム(73, 72, 31)	フランス(30, 32, 31, 72)
ブルジョア(30, 33, 73)	ブレハブ(30, 70, 長72)	プロパン(31, 30, 72, 林70)	プロペラ(30, 33, 73)	ヘアピン(32, 30, 模31)
ペランダ(30, 72, 大70)	ベルギー(31, 33, 橋32, 田30)	マイカー(73, 31, 33)	マカロニ(73, 33, 30)	マニキュア(30, 33, 早70)
マネキン(70, 30, 31, 田72, 千73)	マンネリ(70, 30, 千33)	メキシコ(30, 70, 72, 31)	メリンス(30, 72, 田31)	モザイク(72, 三33, 千32)
モスリン(73, 31, 長32, 田30)	モナリザ(30, 33, 中72, 千31)	モロッコ(31, 72, 32)	ユーモア(33, 31, 73)	ユネスコ(33, 筆30, 三32)
リヤカー(31, 72, 32)				

5 モーラ (220語)

全員コ3 (54語)

アスファルト	アルマイト	Aクラス	エベレスト	エメラルド	オートバイ	カウボーイ	ガスタンク	ガスマスク
ガムテープ	カムバック	カルシューム	ギブアップ	キログラム	クリスマス	クレゾール	ゴムホース	サングラス
セメダイン	セルロイド	セロテープ	ソーセージ	ダンブカー	ツアアウト	ツービース	ニューヨーク	パーセント
ハイヒール	ハイライト	バスガイド	バスケット	バスタオル	バスポート	ハムサンド	ハムサラダ	ハムサラダ
パラシュート	ハンバーグ	ハンモック	ヒヤシンス	ピンセット	ヘクター	ベニシリン	ペンネーム	ホームラン
ホルマリン	マンホール	メロドラマ	ヨーグルト	ヨーロッパ	ライトバン	レントゲン	ワンタッチ	ワンビース

全員テ2 (23語)

クラクション	クラッカー	クレンザー	クロッカス	グロッキー	コマーシャル	スキヤンダル	スクーター	スエーデン
スピーカー	スポンサー	スラックス	スローガン	デザイナー	デラックス	ドライバー	ドライバー	トラクター
リハーサル	リバイバル	リラックス	ロケーション	プレーヤー				

全員テ3 (5語)

インディアン	スクラップ	スクリーン	ストライキ	ストライク
--------	-------	-------	-------	-------

全員コ0 (5語)

アルコール	ジフテリア	エチオピア	カンボジア	ハーモニカ
-------	-------	-------	-------	-------

全員コ1 (2語)

シングルス	ネックレス
-------	-------

全員コ4 (1語)

サードゴロ

コ3・テ3 揺れ (42語)

アイシャドー	アスビリン	アセチレン	アノラック	アンコール	エボナイト	オキシフル	オブラート	エスキモー
カッライズ	コンクール	サッカリン	シクラメン	チョコレート	デンマーク	トラホーム	ナトリウム	ナフタリン
ノイローゼ	バラチビス	バレリーナ	ブラモデル	ブルドック	プロボーズ	プロマイド	ポリバケツ	マイホーム
マイベース	マヨネーズ	マンドリン	ユニホーム	ラブシーン	ラブレター	レモネード	バリケード(13, 模13)	ビーアール(13, 大13)
ピラミッド(13, 大13)	フラメンコ(13, 模13)	プロگرام(13, 大13)	ボイコット(13, 大13)	モノレール(13, 大13)	ライラック(13, 模13)			

コ3・コ1 揺れ (23語)

アーモンド	アクセント	エチケット	エピソード	イヤリング	タイピスト	チャーミング	テクニク	ハイキング
ハイキング	バイキング	ハムレット	ピアニスト	ビーナツ	ビクニク	ビルディング	ヘルメット	ペンダント
ボクシング	マスコット	ナンセンス(11, 泉13)	マットレス(11, 泉13)	レストラン(11, 泉13)	レスリング(11, 泉13)			

コ0・コ3 揺れ (8語)

ゴールテン	バイオリン	ビスケット	ボーリング	ボルトガル	ルーマニア	カンニング(10, 早13)	バクテリア(10, 模13)
-------	-------	-------	-------	-------	-------	----------------	----------------

コ3・コ4 揺れ (5語)

アロハシャツ	ベストテン	ロードショー	ゴールイン(13, 模14)	ボールペン(13, 模14)
--------	-------	--------	----------------	----------------

テ3・テ2 揺れ (2語)

スキーヤー	クローバー(12, 大13)
-------	----------------

コ1・テ3 揺れ (1語)

チャンピオン

テ2・コ1 揺れ (1語)

マネージャー(12, 模11)

コ0・テ0 揺れ (1語)

アンモニア(10, 模10)

コ0・テ2 揺れ (1語)

ステーション

コ3・テ2 揺れ (1語)

クリスチャン

コ4・テ4 揺れ (1語)

ボディビル

コ2・テ2 揺れ (1語)

ワシントン

コ1・コ3・テ3 揺れ (12語)

コンタクト	アドバイス	アンケート	カーデガン	デリケート	ドーナツ	コンセント(13, 11, 模13)
アルバイト(13, 大11, 林13)	エゴイスト(13, 13, 模11)	オルゴール(13, 13, 中11)	カメラマン(13, 13, 模11)	マッサージ(13, 13, 大11)		

その他 (31語)

アレルギー(12, 13, 13, 大14)	インタビュー(11, 13, 13, 模12)	ウイスキー(13, 13, 大10, 真12)	エネルギー(12, 栗13, 大14, 平13, 模12)
カウンター(10, 11, 12, 泉12)	カメレオン(13, 13, 12)	カルケット(10, 13, 真11)	カレンダー(12, 平13, 模11)
カンガルー(10, 13, 模11)	コレクション(12, 12, 泉13)	コロンブス(12, 平12, 泉13)	ジュラルミン(13, 12, 真10, 栗13)
ステンレス(12, 10, 13)	タンバリン(11, 13, 模13, 林12)	チキンカツ(14, 13, 模10)	トースター(11, 13, 模12)
ナボレオン(13, 12, 真10)	パイロット(13, 11, 模12)	ヒステリー(10, 13, 13)	フライパン(13, 13, 模14)
ブラカード(13, 模13, 模12)	ブランデー(12, 10, 13, 泉12)	プレゼント(13, 12, 12)	マーガリン(11, 13, 12, 模13)
マーケット(11, 13, 模13, 林12)	モーニング(11, 13, 12)	モルモット(13, 10, 中13)	ランドセル(13, 14, 田10, 模12)
ランニング(10, 早13, 早11)	ランデブー(13, 平13, 模12, 11)	レモンティー(13, 14, 模13, 真12)	

6 モーラ (171語)

全員コ4 (68語)

アルファベット	アルミニウム	オールバック	オリンピック	ガードレール	ガールハント	ガイドブック
ガストロップ	カスターネット	カウスボタン	カラーテレビ	ガラスコップ	キャッチボール	クレオソート
クレオパトラ	クロロホルム	コールタール	サーチライト	サンドイッチ	ジャックナイフ	ショートケーキ

ショートパンツ	シルクハット	シルクロード	スーツケース	ソフトボール	ダイナマイト	ダイヤモンド
タングステン	ダンスホール	チームワーク	チキンカレー	チキンライス	ツベルクリン	デーマソング
テニスコート	ダッチボール	トップクラス	トップレベル	シアップザック	ノックアウト	パートタイム
バトンタッチ	ハンカチーフ	パンタグラフ	ハンドバッグ	フェリーボート	フォークダンス	プラスチック
ブラスパンド	ヘアスタイル	ベースアップ	ヘッドライト	ペンフレンド	ホームシック	ホットケーキ
マイクロホン	マグニチュード	マグネシウム	マルコポーロ	ミニスカート	ミルクセーキ	ヨードチンキ
ライスカレー	ラッシュアワー	リュックサック	レーンコート	ローブウエー		
全員コ3 (8語)						
カーネーション	ガスライター	キロメートル	ノーネクタイ	ハイソックス	パイナップル	ベーターベン
ヘリコプター						
全員テ4 (4語)						
インドネシア	カレーライス	バレーボール	コンクリート			
全員コ5 (4語)						
A B C	ジャングルジム	チューインガム	ビッチャーゴロ			
全員テ2 (1語)						
ストッキング						
コ4・テ4 揺れ (23語)						
オンザロック	クラリネット	コントロール	シンガポール	シンボジウム	スカイライン	スボールカー
スポーツマン	デッドボール	テレビドラマ	トマトジュース	ネッカチーフ	バックネット	バックミラー
ハヤシライス	フランスパン	プレーボーイ	プレーボール			
グラジオラス (34, 泉74) ジンギスカン (34, 泉74) スキンシップ (34, 泉74) ヒッチハイク (34, 林74) ボディーガード (34, 田74)						
コ3・テ3 揺れ (8語)						
アンサンブル	エレベーター	スパゲッティ	バイタリティー	バトミントン	ブルドーザー	プロボーション
コンピューター (73, 大33)						
コ4・コ3 揺れ (6語)						
スーパーマン	ピーターパン	ヘアトニック	ポリエチレン	ジーゼルカー (34, 千33)	シュークリーム (34, 中33)	
コ4・コ5 揺れ (8語)						
アップルパイ	オールスター	ファッションショー	ホンコンジャツ	ワンマンバス		
オールドミス (35, 平34) ネクタイピン (34, 樫35) ケーブルカー (34, 樫35)						
テ2・コ4 揺れ (4語)						
アシスタント	ウエートレス	クリーニング	ドレッシング			
コ1・コ4 揺れ (4語)						
ジェントルマン	パンフレット	サラブレッド (34, 樫31)	セールスマン (34, 樫31)			
コ3・コ5 揺れ (2語)						
オーケストラ	キリマンジャロ (33, 長35)					
テ4・テ5 揺れ (1語)						
クリームパン (34, 樫35)						
テ2・テ4 揺れ (1語)						
アコーデオン						
コ5・テ5 揺れ (1語)						
プロパンガス						
テ3・コ4 揺れ (1語)						
スチュワーデス (73, 樫34)						
その他 (27語)						
アクセサリ (33, 34, 73, 大31)	アクロバット (34, 74, 樫73)	アスパラガス (34, 33, 35)	アドバルーン (34, 33, 74, 平73)			
アナウンサー (73, 33, 72)	アンバランス (74, 73, 千34)	インスタント (74, 34, 32, 樫31)	S O S (35, 33, 林73)			
コントラバス (35, 75, 千34, 栗74)	サイクリング (34, 32, 31)	サラリーマン (73, 33, 34, 樫31)	チンパンジー (33, 長73, 樫34)			
トーナメント (34, 32, 31)	ドライブイン (74, 74, 34)	ドラマチック (34, 74, 樫73)	トランペット (34, 74, 樫72)			
トレーニング (72, 74, 34)	トロリーバス (35, 75, 34, 33)	ナンバーワン (35, 34, 泉33, 樫1+1)	B C G (35, 泉34, 大75)			
P T A (35, 34, 大75)	ブライバシー (34, 33, 73, 72)	ブライベート (34, 74, 樫72)	ミスプリント (34, 74, 73, 千31+30)			
ロマンチック (34, 74, 樫32)	ワンマンカー (34, 33, 樫35)	ワンマンショー (34, 35, 中33)				
7 モーラ (91語)						
全員コ5 (32語)						
アップercut	オレングジュース	カーテンラール	ガールフレンド	キャッチャーミット	コールドゲーム	サーモスタット
サンタクロース	シーソーゲーム	ショルダーバッグ	ステンドグラス	センターフライ	センターライン	ソフトクリーム
タイトルマッチ	ナイチンゲール	ニュージーランド	バーゲンセール	パーセンテージ	ハッピーエンド	ビーフステーキ
ブラットホーム	ヘアスタイル	ボーイフレンド	ホールドアップ	ボストンバッグ	マドロスパイプ	モーターバイク
モーターボート	ラストスパート	リーダーシップ	ロングスカート			

全員コ4 (20語)

オートメーション	オレンジジュース	コインロッカー	ゴールキーパー	サウジアラビア	サンドペーパー	シャープペンシル
セルフサービス	セルフタイマー	センチメートル	センチメンタル	タイプライター	ダンスパーティー	トップバッター
パートタイマー	ピンチヒッター	ベストメンバー	ミルクコーヒー	ルームクーラー	レディーファースト	

全員テ4 (3語)

コンビネーション コンプレックス レクリエーション

全員テ5 (2語)

コーヒーカップ ビニールハウス

全員コ6 (1語)

クリスマスイブ

コ5・テ5 揺れ (11語)

アイスクリーム	インターチェンジ	インフルエンザ	スケッチブック	スタートライン	スタンプインキ
ホワイハウス	ラグビーボール	ラッキーセブン	グランドピアノ (35、橋35)	スケートリンク (35、長35)	

コ4・テ4 揺れ (12語)

アイスクャンディー	アイスコーヒー	アイスホッケー	インフレーション	エスカレーター	クライマックス
スローモーション	ダブルヘッダー	トライアングル	トランジスター	オーソドックス (34、大34)	オランウータン (34、真34)

コ6・テ6 揺れ (1語)

アンモニアガス

コ5・コ0 揺れ (1語)

オーストラリア

コ4・コ1＋コ0 揺れ (1語)

プラスマイナス (34、泉31+30)

コ5・コ6 揺れ (1語)

ランニングシャツ

その他(6語)

アセチレンガス (36、36、35)	ショーウインドー (34、35、泉34)	トマトケチャップ (34、35、30#32、大35)
バスターミナル (33、35、泉31+33)	パトロールカー (35、35、橋36、樫36)	ロマンスグレー (35、36、35、36)

8 モーラ (28語)

全員コ6 (10語)

ウェディングドレス	エープリルフール	クリスマスカード	コールドクリーム	サンドイッチマン	サンフランシスコ
テーブルスビーチ	ニトログリセリン	ポータブルラジオ	ワイヤレスマイク		

全員コ5 (6語)

アフターサービス	ジーゼルエンジン	セールスポイント	テーブルセンター	テーブルコーダー	バッテリーボックス
----------	----------	----------	----------	----------	-----------

全員テ4 (1語)

メチルアルコール

コ6・テ6 揺れ (3語)

エンゲージリング	コンタクトレンズ	スクラップブック
----------	----------	----------

コ5・テ5 揺れ (3語)

スチームアイロン	スプリングコート	スポーツセンター
----------	----------	----------

コ6・コ7 揺れ (1語)

クリスマスツリー

その他 (4語)

ガソリンスタンド (36、30#32、35、36)	グレープフルーツ (36、36、30#32、36)	スタミナドリンク (36、36、千35)
ストップウォッチ (36、30#32、35、35)		